

令和5年度事業報告



特別養護老人ホーム外房

ショートステイサービス外房

デイサービスセンター 外房

令和5年度 社会福祉法人外房 事業報告

☆法人基本理念 「存在感のある生活」

☆法人基本方針 外房を“家”とし、お客様を“介護される人ではなく共に生活する人” 家族の一員として気遣い、思いやりの気持ちを持って日々接することを目標とし、お客様に穏やかな日々が提供できる施設として職員一同で心がけることを基本方針とする。

☆事業/総評 令和元年に突然発症したコロナウイルスは、世界中を席卷し、社会構造や経済を大きく停滞させたばかりか、人々の社会通念や生活慣習に係る様々な常識に至るまで変化させた、類まれな感染症となりましたが、時の経過と共に、令和5年度におきましては、世界は「共存」という手法に転換し、日本においてもインフルエンザと同様の取り扱いとなる5類型として、国は感染症の規制緩和に舵を取り直す事となりました。これにより、外国人の観光客の受け入れやマスクの着用、人の交流も柔軟な方針に転換されましたが、高齢者施設や医療施設等においては、コロナ禍に追随した方針が継続されたことにより、感染防止の観点に不協和音という状態を感じざるを得ない状況が生じつつあります。

経済においても、終息の見えないウクライナ戦争や突然勃発したイスラエルとパレスチナにおけるガザ紛争に関連した物価や株価の上昇、更に政府対策による人件費の高騰、人材不足とコロナ禍以上に先行き不透明感の強い状況の中で、第9期介護保険事業計画が策定されることとなりました。いわゆる団塊の世代が後期高齢者となる「2025年問題」に直面することとなります。

このような世界経済や治安が不安定な中ではありましたが、外房の単年度計画として「事業推進」を予定しておりました10項目及び「職員環境」として掲げました5項目につきましては、粛々と事業展開を図ってきたところでございます。

令和5年度の中心事業となります「令和5・6年度老人福祉施設整備事業」(外房施設増床事業)におきましては、工事費が高騰するなか、事業の早期着手を念頭に実現性の高い建物構造や規模内容の見直しを行い、再度千葉県と変更協議を行うと共に、御宿町の再審査においても変更設計が承認され、来年度早々に変更協議書の提出を予定することとなっております。また、「災害に強い施設」強化のために予定しておりました「災害発生時の外房業務継続計画(BCP)」の策定。「身体拘束廃止」や「権利擁護」などコンプライアンスを厳守した研修会や指針の策定も行っております。その他、ICT導入モデル事業や「居宅介護支援事業所」の開設など継続性のあるものについては、順次繰り越しながら実績整理をして参ります。

「職員環境」につきましては、国の「働き方改革」の方針を念頭に、「介護職員処遇改善事業計画」や「人事考課」による職員の適正や勤務環境の整備による作業の平準化と共に新たな特別休暇として「リフレッシュ休暇」を追加するなど職員の働く場の改革にも取り組んで参りました。

令和5年度におきましては、「御宿町の福祉の向上」と「外房の発展」を目途に事業を展開して参りましたが、今後も職員の働く環境の整備やご利用者の安全対策を図り、安心して働くことの出来る職場づくりと社会福祉法人として“住み良い福祉の町づくり”に貢献する「外房」を展開してまいります。

<法人事業の実施状況>

(1) 理事会の開催

理事定数：6名 監事定数：2名

開催時期	議事提案承認	出席者
6月6日	令和5年度第1回（開催） <ul style="list-style-type: none"> 令和4年度 事業報告及び決算報告 「外房」定款11条及び第12条の規定による定時評議員会の招集（案）及び議案について 役員候補者の提案について その他報告連絡事項 	理事及監事出席数 理事 6名 監事 2名
6月21日	令和5年度第2回 <ul style="list-style-type: none"> 理事長の選任について 内部経理監査員の選任について 	理事及監事出席数 理事 6名 監事 1名
12月15日	令和5年度第3回 <ul style="list-style-type: none"> パートタイマー就業規則改正（案）について 令和5年度第1回資金収支補正予算（案）について 職員の服務規律に関する処分について 令和5年度 老人福祉施設整備（増床事業）に係る方針について 	理事及監事出席数 理事 6名 監事 2名
令和6年 3月21日	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度資金収支補正予算（案） 令和6年度事業計画（案） 令和6年度資金収支予算（案） 介護老人福祉施設運営規程の改定（案）について 介護予防短期入所生活介護事業所運営規程の改定（案）について 短期入所生活介護事業所運営規程の改定（案）について 介護予防通所介護事業所運営規程の改定（案）について 通所介護事業所運営規程の改定（案）について 居宅介護支援事業運営規程の改定（案）について 組織管理規程の改定（案）について 就業規則改定（案）について 給与規程改定（案）について 業務継続計画（BCP）の作成（案）について 理事長の職務執行状況報告 その他報告連絡事項 	理事及監事出席数 理事 6名 監事 1名

(2) 評議員会の開催

委員定数：7名

開催時期	議事提案承認	出席者
6月21日	<ul style="list-style-type: none">・令和4年度 事業報告・令和4年度 決算報告・定款の改定（案）について・任期満了に伴う理事及び監事の選任について・その他報告連絡事項	評議員出席数 5名 理事 1名 監事 1名

(3) 評議員選任・解任委員会の開催

委員定数：3名

開催次期	議事提案予定	出席予定者
	開催なし	

(4) 監査

- ①内部経理監査 職務担当理事1名 実施数：4回／年
- ②監事監査 監事出席者数2名 実施数：1回（5月）
- ③社会福祉法人指導監査
千葉県（山武健康福祉センター）実施数：0回
- ④御宿町 運営指導（日常・総合事業 通所介護）
御宿町（保健福祉課）実施数：1回

<令和5年度委員会及び部署別会議等の報告>

☆総 評

令和元年に発生したコロナウイルス感染症も5年を経過し、多くの対策と対応がなされた結果、令和5年5月から「インフルエンザ」と同類系の取り扱いとして国が方針を転換したことにより、一般社会の生活環境がコロナ禍以前に差し戻され、イベントやお祭りも通常通り開催されるようになりましたが、国の通達により医療・介護現場等におきましては、処置対策がコロナ禍と変わらない状況となっております。従って、外房で開催される会議・研修会の実施につきましては、従前どおり「リモート研修」や「会議時間の短縮」等、継続対応として参りました。

外房施設全体での職員を対象とした会議・委員会数は37を数え、月の開催数は平均2から3回程度の開催となっております。

大別しますと、法人全体をイメージした会議委員会と各部を主体にイメージした委員会・会議形態となっておりますが、組織運営の方式的には前年度と同様となります。

法人主体としては、4委員会と5会議となっております。今年度義務付けられました「業務継続計画」策定のために「BCP策定委員会」を新規に設置し、計画の策定協議を致しました。

「コンプライアンス委員会」は、職員の倫理についても注視しておりますが、理事会においても審議されましたが、本年度は正職員1名に対し、初めての事情聴取や懲罰等の規定運用の実務を行いました。

「施設建設検討委員会」は、事業実施に向け「施設増床建設委員会」に名称変更し、協議短縮のためにリーダー会議と併用致しました。

総務部主体では、5委員会、5会議となっております。お客様の入所や防災対策が主体会議となっております。

看護部主体では、3委員会、2会議となっております。コロナ等の感染対策や産業医による衛生管理関係が主体となっております。

在宅部では、3委員会、4会議となっております。

「身体拘束廃止」関係につきましては、今年度新規の要綱設定に取

組みました。研修委員会は、リモートやアンケートにより実施いたしました。

介護部では、3委員会、3会議となっております。

ご利用者の排泄や看取りといった具体的な部分を様々なケース毎に研究を実施して参りました。

また、これらの会議委員会以外に、コロナウイルス感染によるクラスター対策や具体的な感染症事案に対処する緊急対策ディフェンスチームとして、御宿町在住者を中心に「感染対策班」の設置や土砂・水害などの災害対応のための「防災対策班」を昨年同様に設置致しましたが、今年度は大きな事故もなく、班の出動はありませんでした。

今後も従前に引き続き、地域住民に寄り添った福祉事業の推進に心掛けると共に施設運営においては、コンプライアンスを重視した管理体制や様々な福祉事業への参画を積極的に実践し、地域の皆様や行政と共に“住み良い福祉の町づくり”に貢献して参ります。

<会議・委員会の実施状況>

☆印は、新規取組み

会議：委員会名		管理者会議
主旨／目的 「外房」運営に係る重要事項及び理事長・施設長の専決事項について協議し方針を定めると共に理事会や評議員会への提出議案等の調整を行う執行機関。		
協議実績 * 経営に関する協議や施設整備に係る内容協議を実施。 * 理事会や評議員会への議案や内部規定について協議。		
実績数 2回	委員数 2名	備考 理事長・施設長

会議：委員会名		主任会議
主旨／目的 「外房」運営に係る全ての事務協議等を実施し、管理者会議等への諮問・答申を行う。		
協議実績 * 経営に関する協議や施設整備に係る内容協議を実施。 * リーダー会議等へ協議案件の連絡調整を検討。 * 新型コロナウイルス感染拡大防止対策への対策協議の実施。 * 人事考課や職員管理に関する協議		
実績数 18回	委員数 4名	備考 施設長・各部主任

会議：委員会名		リーダー会議
主旨／目的 主任会議への諮問・答申等と共に施設内の職員との連絡調整を行う事を目的とする。		
協議実績 * 各班及びユニット等施設内の意見調整を実施。 * 主任会議等の報告及び連絡調整を図った。 * 職員の勤務体制や感染対策協議を実施。 * 職員の人事考課や介護職員の勤務体制検討。 * 関連会議の統合協議を実施した。(☆新規)		
実績数 13回	委員数 11名各部署委員	備考 当初計画1回/月 (リーダー不在時=サブリーダー)

会議：委員会名		経営マネージメント委員会
主旨／目的 「外房」の経営に関する調査・協議を実施すると共に対外的な事業展開に際し、意見調整を行う。		
協議実績 *稼働率や今後の方針について協議。 ※主任会議にて対応同時実施。		
実績数 1回	委員数 4名	備考 施設長・各部主任：当初計画2回/年

会議：委員会名		入所判定委員会
主旨／目的 入所に関する基準を明確にし、入所決定の透明性・公平性の確保を図り、入所の円滑な実施に資する。また、入所判定会議への回答及び答申を行う介護職員を中心とした委員会。		
協議実績 *入所希望者の入所後の環境整備等を協議。 *入所者の意向確認や現状調査（面談含）を実施。 *入所者の調書に係る書式の検討を実施（☆新規）		
実績数 11回	委員数 9名各部委員	備考 当初計画1回/月

会議：委員会名		感染症対策委員会
主旨／目的 感染症及び食中毒対策を多職種連携により協同して予防及び発生時の対策を行い安全・安心な施設づくりを実施する。		
協議実績 *風邪やインフルエンザ等の感染予防及び実務対応を協議実施。 *嘱託医と連携し、予防対策や感染対策を行った。 *外房独自の新型コロナウイルス感染防止対策を検討。 *面会対応について協議した。		
実績数 4回	委員数 9名各部委員	備考 当初計画3回/年.他

会議：委員会名		研修委員会
主旨／目的 お客様が安全・安心な生活を送るため、仕事の進め方や知識・技能の習得を図る。		
協議実績 * 身体拘束に係る実務研修を実施した。 * アンケートやリモート研修の実施		
実績数 3回	委員数 5名各部委員	備考 当初計画3回／年

会議：委員会名		給食委員会
主旨／目的 お客様の食の安全を図ると共に食を通じて生活の質を高めることにより安心した施設生活を創造する。		
協議実績 * 入所者に係る栄養評価の実施。 * 食事に関する内容及び栄養に関する協議を実施。 * 委託業者と連携した職場管理や衛生管理を実施。 * 給食施設巡回指導（夷隅保健所）		
実績数 11回	委員数 4名各部委員	備考 当初計画1回／月（富士産業同席）

会議：委員会名		身体拘束廃止委員会
主旨／目的 身体上、精神行動上さまざまなリスクを抱えたお客様が安全・安心な生活が送れるために、身体的な虐待（身体拘束）及び心理的な虐待（言葉の暴力）等の行為の禁止を図る。		
協議実績 * 新規のお客様の状況把握や他の施設での対応を参考にお客様に見合った対応を協議。 * 「身体拘束廃止」に係る新要綱改編（☆新規）。 * 身体拘束に係る個々のケース検討		
実績数 4回	委員数 12名各部委員	備考 当初計画1回／3ヶ月

会議：委員会名		安全衛生管理委員会	
主旨／目的			
職員の労働災害の防止及び健康の保持増進に寄与するため、職場における安全と健康の確保、快適な職場環境の推進に資する。			
協議実績			
<ul style="list-style-type: none"> * 入所者の「看取り期」の状態確認を実施。 * 施設内の安全対策のための巡視実践。 * 職員のストレスチェックや健康相談を実施。 			
実績数	委員数	備考	
1 2 回	名各部委員	当初計画 1 回／月：木元産業医管理指導	

会議：委員会名		排泄委員会	
主旨／目的			
自立した日常生活を送る上で排泄のコントロールは不可欠なものであり、排泄支援を人間形成を育むものとして取り組むと共に効率的な作業の在り方を研究する。			
協議実績			
<ul style="list-style-type: none"> * オムツの機能性や使い方について協議検討。 * 排泄の効率性等を協議検討。 * 排泄に於ける職員向け実践指導を実施。(エニチャームアドバイザー) 			
実績数	委員数	備考	
4 回	8 名各部委員	当初計画 3 回／年	

会議：委員会名		褥瘡対策委員会	
主旨／目的			
褥瘡は活動性の低下と共に発症し、様々な感染症の温床となることから早期発見及び予防治療に多職種が協働して当たる事が重要な為連絡調整及び実務連携を行う。			
協議実績			
<ul style="list-style-type: none"> * 褥瘡者の経過報告及び処置内容検討協議。 * 実例に対して多種連携で対応。 * 具体例に対する予防・治療行為を協議検討。 * ケアプラン会議と同時開催することで会議の効率性を推進。 			
実績数	委員数	備考	
1 2 回	7 名各部委員	当初計画 1 回/月：ケアプラン同時開催実施	

会議：委員会名		環境衛生委員会
主旨／目的 毎月第三日曜日を「環境整備の日」と位置づけ、施設の環境美化やお客様の日常生活の環境整備を行い、施設の「安全・安心性」を高める。 (日程変更：第一木曜日→第三日曜日. 御宿「町民清掃の日」)		
協議実績 *施設内の樹木や花の植栽整備を実施。 *「環境整備の日」に施設管内放送による啓発活動。 *環境整備に係る支援員班を設置し、日常業務の連携を実践。 *久保区「古紙回収」に協力。(毎月第三日曜日) *「御宿町民清掃の日」を外房環境整備の日に設定(☆新規)		
実績数	委員数	備考
2回	5名各部委員	当初計画2回/年

会議：委員会名		防災委員会
主旨／目的 入所や利用のお客様の安全を確保するため、防災対策や避難訓練を実施し、災害の未然防止や対策に努める。		
協議実績 *お客様と職員で協力した防災訓練(3回/年)を実施。 *防災訓練後に訓練の反省会を実施。 *大雨や風、地震発生時の点検報告実施。(☆新規) *セコム管理システムとの連携強化(☆新規)		
実績数	委員数	備考
3回	11名各部委員	当初計画3回/年(4. 6. 9月)

会議：委員会名		人事考課委員会
主旨／目的 職員や非常勤職員の処遇改善事項について定量的な要件を課すことやキャリア・パスに関する条件の整理等、適切な人事考課を実施するための取り組みを研究・検討する。		
協議実績 *介護特別手当等の支給資料として整理実施。 *主任会議及びリーダー会議にて検討協議。 *職員の人事及び登用の見える化への取り組み実施。(☆新規)		
実績数	委員数	備考
3回	4名	施設長・各部主任(主任会議同時開催)

会議：委員会名	事故安全対策委員会	
主旨／目的 施設利用者のお客様に認知症や車椅子利用で介護度の高いお客様が増加したことにより、不慮の事故や行き違いによるお客様とのトラブル等近年多く見られる事案の緊急的な対策を行うとともに補償関係についても対応する。		
協議実績 ＊コンプライアンスを重視し、安全な施設運営を行う協議を実施。 ＊主任会議にて、具体的対応検討協議。		
実績数 2回	委員数 4名	備考 必要に応じ実施。施設長・各部主任

会議：委員会名	リスクマネジメント委員会	
主旨／目的 ヒヤリハットに関する対応や職員間での事故対策等を事案ごとに介護現場に則した検討・研究を行い、安全な施設づくりを目指す。		
協議実績 ＊多職種による介護現場の連携を図る為の意見交換を実施。 ＊ヒヤリハットの実例に基づく対策を検証協議。		
実績数 3回	委員数 6名各部委員	備考 当初計画3回/年

会議：委員会名	コンプライアンス委員会	
主旨／目的 外房施設内での法令順守と社会的正義に関する監視を行い、職員の意識の高揚を図る。		
協議実績 ＊実例に基づく対策を検証協議。(個別ケース整理) ＊コンプライアンス重視に向けた取組みを職員間で共有。 ＊正職員の服務規律違反実務処理1件(☆新規)		
実績数 2回	委員数 4名各部主任	備考 施設長・各部主任(主任会議同時開催)

会議：委員会名	施設増床建設委員会（旧：施設建設検討委員会）	
主旨／目的 外房施設の大規模模様替工事及び施設内の工事箇所を検証と施設増床事業の早期完成と職員意見を重視した施設づくりを行う。		
協議実績 <ul style="list-style-type: none"> *施設内工事に於ける問題点の確認。 *増床事業に関する変更申請協議。（☆新規） *変更設計に係る千葉県内協議実施（☆新規） *変更設計に係る御宿町協議・承認（☆新規） *リーダー会議と併設開催（☆新規） 		
実績数 6回	委員数 11名部リーダー	備考 委員会名称変更

《各部・各班別会議》

委員会や会議の組織改革の一つとして、従来から実施していた会議を委員制から身近な部・班単位とし、朝・夕の職務引継ぎの際に連携して実施し、機能性や迅速な対応を図れる会議・委員会として取組み実践する。

会議：委員会名	部・班会議	
主旨／目的 総務部・介護部・在宅部の3部門が、それぞれ問題や課題に則した会議を実施し、具体的な事案に添った整理や対応を協議することにより部内の連携を図ると共に多職種に於ける専門班会議を行い迅速な問題解決に着手する。		
協議実績 <ul style="list-style-type: none"> *必要に応じて各部主任・リーダーが招集し、問題の解決実施。 *コンパクトな班の会議により多数の職員の協議参加。 		
実績数 12回：随時	委員数 各部	備考 当日出勤者

会議：委員会名	ターミナルケア委員会（介護部・在宅部）	
主旨／目的 お客様の終焉の場である“看取り”を厳粛にかつ適正に実施するための課題やご家族への対応を協議検証する。		
協議実績 <ul style="list-style-type: none"> *「看取り期」の利用者の状況確認。 *医師による「看取り期」の確認（☆新規） *家族面会等の実施/直接面会実施（☆新規） 		
実績数 2回	委員数 7名	備考 当初計画3回／年

会議：委員会名		ケアプラン会議（介護部ひがし班.にし班・在宅部）	
主旨／目的			
お客様の状況にあわせたケアプランをより具体的に精査すると共に介護現場との確認・連携を強化するため現状に則した会議を実施する。			
協議実績			
<ul style="list-style-type: none"> * 新規入所者のケア実務の確認（☆新規） * 個別のお客様に則した介護ケアの実践に、多職種による会議実施。 * お客様のご家族連携を深める為、ご家族同席実施。 * 窓越し面会に伴うお客様対応実施。 * お客様ケアに関する誤薬排泄等の検討協議。 			
実績数	委員数	備考	
24回	各部対応	当初計画3回/月	

会議：委員会名		身体拘束実施者評価委員会（介護部・在宅部）	
主旨／目的			
身体拘束廃止に向けた検討（身体拘束廃止委員会）だけでなく、個々のお客様における状況の精査検証を実施した。			
協議実績			
<ul style="list-style-type: none"> * 法改正に伴う身体拘束の対応整理（☆新規） * 身体拘束廃止委員会（リーダ-会議）での問題点や課題の整理実施。 * 個別事例に対する対処や確認を職員相互で協議。 			
実績数	委員数	備考	
12回	各部対応	ケアプラン会議同時実施	

会議：委員会名		職員全体会議/職員互助会	
主旨／目的			
<p>年度初めの式典として本年度の事業計画及び基本方針について全職員を対象に実施する。</p> <p>職員間の連携を図るため互助会による職員互助を実施する。</p>			
協議実績			
<ul style="list-style-type: none"> * 理事長事業方針説明（☆新規） * 永年勤続職員表彰（☆新規） * 事業計画並びに各セクションの基本方針を施設長及び各部主任から説明。 * 職員互助会の要綱改正。（職員間のコミュニケーションを図り、相互扶助精神は施設運営の要） * 会議終了後に辞令交付式実施。 			
実績数	委員数	備考	
1回	職員全体	当初計画1回/年。非常勤含/職員辞令。理事長出席	

会議：委員会名	入所前ケアカンファレンス検討委員会	
主旨／目的		
新規に入所されるお客様が、外房で安心して、快適に過ごせるように、新規入所のお客様の情報整理と確認を職員間で共有し、安全で具体的な介護ケアの充実を図る。		
協議実績		
<ul style="list-style-type: none"> *お客様個々の介護ケアの推進と情報の共有化を図る。(☆新規) *多職種による連携強化に意見交換を実施。 *個別実例に基づく介護ケアを様々な角度から検証協議。 *身体拘束やコンプライアンスを重視した取組みを職員間共有。 		
実績数 随時	委員数 8名各部委員	備考 当初計画3回/年(新規入所者毎に実施)

《講習会の実施》

施設のお客様が重度化するなかで、施設の安全・安心を提供する観点から、全職員が緊急時における対応を備えることを目的に救急法や火災訓練などを実施した。

○救急講習会(夷隅郡市広域市町村圏消防御宿分署)

*新型コロナウイルス感染対策により中止

講習会名	実績	職員参加者数
(1) 普通救命講習 I ・心肺蘇生法 (アンビュウ使用) ・AED (自動対外式除細動器) ・止血法	・0回 (当初計画1回/3年)	・0人 未実施
(2) 救急講習会 ・心肺蘇生法 (アンビュウ使用) ・AED (自動対外式除細動器)	・0回 7・9・11・1月実施 (当初計画1回/年)	未実施

○防災訓練(夷隅郡市広域市町村圏消防御宿分署指導立会)

訓練名	実績	職員参加者数
防災避難訓練 (夜間・昼間・地震津波)	・3回 5・7・10月実施 (当初計画3回/1年)	・30名

《緊急対策ディフェンスチーム》

想定外の気象変動や新型のウイルス感染から、施設を利用されるお客様を守るために、職員間緊急連絡網と共に実践チームを編成し、安全な施設体制を構築する。

○感染対策班

* クラスタ発生時においては、長期に渡ることから日程を調整し、チーム実践を図る。

感染対策班	A チーム	B チーム	C チーム
感染対策本部	産業医. 施設長. 主任		
チームリーダー	主任	主任	主任
看護職員	リーダー	サブリーダー	看護職員
介護職員	副主任	サブリーダー	リーダー
待機介護職員	サブリーダー		
	介護職員		
連絡係 (状況報告)	リーダー		
	リーダー		
	サブリーダー		

○防災対策班

* 地震・津波・暴風雨等の発生時においては、施設を取り巻く環境や状況が刻々と変化し、早急な防災対策を必要とすることから、対策チームを編成し、お客様を守るための実務にあたる。

防災対策班	A チーム	B チーム
防災対策本部	施設長	
チームリーダー	サブリーダー	サブリーダー
介護職員	介護職員	主任
	サブリーダー	

* 職種や職名にこだわらず、夜間想定により近隣職員を中心とした即効性主体のチーム編成とした。